

平成30年2月23日

事業名	No.	質 問	回 答	担 当
こども研修事業	1	H31年度も姉妹都市交流がテーマでしょうか？	姉妹都市交流はH29年度からの事業となっており、H31年度までの3年間は姉妹都市交流をテーマにしたいと考えております。 ※研修内容は、見直す場合がございます。	青少年課
	2	吹奏楽・スポーツ・芸術活動・福祉事業・社会福祉協議会等と連携して子供から大人までの実技・ディスカッションを含めた細分化した事業（1事業30名×4事業）等の事業計画でも本事業の提案として可能でしょうか？	本事業の目的の一つは、「異年齢による集団生活を通して、人と関わる喜びを実感する中から、協調性や自主性、社会性を身につける。」です。この目的を達成できる事業内容であれば提案可能です。また、子供から大人までとの記載がございますが、本事業の募集対象は小学生から高校生を想定しております。	
	3	訪問するのではなく、有識者に来苦してもらう事業でも本事業の提案として可能でしょうか？	上記、目的達成の観点から、研修団の移動・宿泊を伴う事業が望ましいと考えておりますが、有識者が来苦する事業であっても目的が達成できる事業であれば提案可能です。	
	4	本事業の成果は、報告会・報告書の提示ですが、過去の事業の報告書は閲覧可能でしょうか？	閲覧可能です。 ※閲覧を希望する場合は、事前にご連絡ください。 連絡先：苫小牧市健康こども部青少年課 電 話：32-6759	
	5	大人の帯同者5名前後を想定しますが、日当2万円は妥当でしょうか？責任者クラスと補助クラスで金額的な差を設けた方が良いでしょうか？	現在、帯同者の日当につきましては、別紙「こども研修事業に係るアドバイザー等に関する要綱」で定めておりますが、上限額内で事業が行えるよう提案いただくことが可能です。	
	6	宿泊はビジネスホテルを考えますが相部屋と個室。従来どうでしたか？また、移動にJR特急指定席は問題ありませんか？	帯同スタッフについては、一部個室の利用もありましたが、参加者につきましては個室利用の実績はございません。また、JR特急指定席での移動は問題ないものと考えております。	
	7	帯同者に小学生等の子を持つ親も含まれます。その子らも事業対象児童に含めることは可能ですか？	現在、制限する規則等はございませんが、帯同者の子が参加することで不信を招く可能性があることから、募集定員を超える応募があり、抽選を行う際は、公平に参加者を選定する必要があると考えます。	
	8	企画・折衝・成果物作成に人件費の計上は可能ですか？その場合の妥当な日当金額は？	上限額内で人件費の計上は可能です。	
	9	帯同者に市の職員2名前後帯同は可能ですか？	市の職員の帯同は可能ですが、必要性については、協議させていただきたいと考えています。	